

2月の東だより



2024年1月31日発行

暦の上では春ですが、寒さが厳しく朝夕の送迎は辛い日々が続きますね…。

感染症も心配です。体調管理に努めて、この寒さを元気に乗り越えていきましょう！

1月27日の乳児生活発表会には、温かい応援をいただきありがとうございました。お休みの子どももおらず、緊張しつつもいつもの笑顔も見れて取り組めたことが一番嬉しかったです。2月3日は幼児生活発表会があります。幼児の子ども達は毎日劇の練習を頑張っています。どのクラスも子ども達は楽しそうに練習しています。本番までの過程で、クラスの仲間とともにいろんな力を身に付けていきます。劇の良し悪しや、見た目で判断するのではなく、子ども達の劇に取り組んでいく中に込めた思いをどうか受け止めていただき、温かい拍手で子ども達のことを褒めてあげてほしいなあと思います。

また、2月中旬より今年度最後のクラス懇談会を開きます。お忙しい中ですが、この1年間を保護者の方々と共に振り返り、次年度へ繋げていきたいと思います。

明るく希望に溢れた春に向かい、職員一同力を合わせて今後も努力していきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

中宮まぶね保育園 園長 山本 真理子

2月5日(月)配布予定・2月29日(木)締切です。

新年度書類提出について

「保育時間申請書」→子ども1人につき父母1枚ずつ提出してください。
市役所提出書類です。市役所のチェックが厳しくなってあります。
注意事項をしっかり読んだ上でご記入をお願いします。

「健康調査票」→予防接種や既往歴等を追加記入して提出してください。

『法人の理念』
本法人の理念「隣人愛」の精神に基づいて
福祉サービスを必要とするすべての人に仕え
日常を支援し 常に人々の人権を護り
その人の尊厳を尊重します

『保育園がめざす子ども像』
◆自分で考え意欲を持って行動する子ども
◆相手を思いやることのできる子ども
◆健康で生き生きと遊べる子ども
◆豊かな感性を持ち、力いっぱい表現する子ども

☆苦情解決委員会☆
◎苦情解決責任者 山本 真理子
◎苦情解決窓口担当 山本 真理子
◎苦情解決第三者委員
畠 健次郎・花岡 尚樹・酒井 咲子
※意見箱は玄関ホールに設置、園に対する苦情
やご質問・ご要望等を受け付けております。又、
子育てやそれらに関係するご相談も随時受け付
けております。

社会福祉法人 日本コイノニア福祉会

中宮まぶね保育園

〒573-0011 枚方市中宮山戸町15-1

TEL/072-840-2780 fax/072-840-3212

E-mail nakamiya-encyo@koinonia.or.jp

URL <http://www.koinonia.or.jp/nakamiya/>

2月うまれのおともだち

3月の休園日・
保育協力日のお願い

新年度準備のため、
3月22日(金)は保育協力日・
3月23日(土)は休園日
となっております。

協力日につきましては、出来るだけ家庭での保育をしていただけますようご協力願います。
登園を希望される場合は、給食がありませんのでお弁当を持参してください。

弁護士による無料法律相談

2月28日(水) 16時～18時 ※要予約 プライバシー厳守
相続・遺言・交通事故・DV・親権・債権回収・借金・サラ金・
労働問題・刑事案件等、法律に関係することでお悩みの方、お気軽にお連絡、ご相談ください。

日	月	火	水	木	金	土
Z 月 の 行 事 予 定	4	5	6	7 布団乾燥 <small>いっしょにあそびましょう (地域子育て支援)</small>	8 発育測定 節分 幼児生活発表会	9 半日こりす
	11	12 建国記念の日	13 英語あそび教室 <small>0歳クラス懇談</small>	14 太鼓教室 <small>2歳クラス懇談</small>	15 リトミック教室 <small>(4.5歳)</small> 1歳クラス懇談	16 中宮小1年生 お店屋さんごっこ <small>(5歳児)</small>
	18	19 体育あそび教室 <small>4歳クラス懇談</small>	20 布団乾燥 保健のお話 <small>中宮小1訪問 (5歳児)</small>	21 リトミック教室 <small>(2.3歳)</small>	22 天皇誕生日	23 太鼓フェスティバル <small>(5歳児)</small>
	25	26 体育あそび教室	27 英語あそび教室	28 太鼓教室 誕生日会 <small>無料法律相談</small>	29 お別れ遠足 <small>(5歳児)</small>	

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」
(ローマ信徒への手紙 12章15節)

子どもたちは日々の生活中で、まわりの大人たちやお友だとの間で、たくさんのこと学んでいきます。ですが、中には教えたつもりはないのに、いつの間にか覚えていたり、身につけていたりする言葉や態度も多く、「どこで習ったのだろう」「誰の真似をしているのだろう」と不思議に思うこともしばしばあります。例えば、お友だちとケンカすること、悪口を言うこと、他人と比べて「するい」と言ったりすること……。ですが、そんな自分中心なことの多い子どもたちであっても、時には何の見返りを求めずに行動する姿も見られます。例えば、目の前で泣いている子がいると、大人は「どこの誰が、どうして」など、すぐに考えますが、子どもたちは考える前にそばに行って、頭をなでてあげたり、声をかけたり、先生に知らせてくれたりします。そのような姿を目にするたびに、子どもたちから学ばせてもらうことが多いことを思います。

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣く」というのは、簡単なことのようで、実は大人にとっては案外と難しいことなのではないでしょうか。むしろ、子どもたちの方が、上手にできているかもしれません。今年は北陸地方を中心とした大きな地震から始まった年となりました。まだまだ困難な状況にある方々が多くおられることを思いつつ、子どもたちと一緒に、喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣けるように導かれて行く一年でありますようにと願っています。

チャプレン・牛田 匡